



とつか

2015年8月会報 第250号

- 国際会長(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)
- 2015 主 題 “Mission with Faith” 「信念のあるミッション」
- スローガン “Count Your Blessing” 「恵みを数えよう」
- アジア地域会長(AP) Edward K. W. Ong (シンガポール)
- ～ 主 題 “Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
- スローガン “Let it Begin with Me” 「まず自分から始めよう」
- 2016 東日本区理事 渡辺 隆(甲府) 「原点に立って、未来へステップ」
- 湘南・沖縄部部长 今城 高之(横浜つづき)「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」
- クラブ会長 吉原 訓 「ゆっくり・楽しく 社会に奉仕」
- 主 題 副会長 浦出 昭吉 書記 若木 一美 会計 小俣 妙子
- メネット事業 吉原 和子 担当主事 長田 光玄



会長ひと言

吉原 訓

第153回芥川賞・直木賞が決まりました。芥川賞は羽田圭介さんの「スクラップ・アンド・ビルト」と又吉直樹さんの「火花」に。直木賞は東山彰良さんの「流」です。羽田さんの受賞作は、介護が必要な80代の祖父とその面倒を見る28歳の無職の孫の物語だそうです。母の介護をしながら暮らす私たち夫婦にとって、新聞の記事を読むだけで胸に迫り来るものがあります。

すぐに書店に行きましたが、8月に増刊だそうです。いまだに手に入りません。

お笑い芸人の又吉さんの受賞は衝撃的でした。かつてと違いテレビ画面にはバラエティ番組が溢れています。お笑い芸人もたくさんいます。彼らの多くは、上場企業に所属しています。なるべく製作費をかけずに視聴率をとるテレビ界の動きに私は嘆いていました。NHKにしても民放にしても 実質的には天下の公器であると思っていますからです。お笑い界の中にあってそのセンスの良さ、描写力の確かさに対する選考会の評価はまさに衝撃的です。

YMCAやワイズメンズクラブに対する世間の評価は 衝撃的でなくてもよいのですが、徐々にでもよいから高まってほしいもの……。思わず そんなことが頭に浮かんでしまいました。

皆さんは しかにお考えでしょう…。

◎今月の聖句◎

神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。

—ヨハネの手紙一 4章9節—

この聖句は大変有名な部分です。この句の直ぐ手前には「神は愛だからです。」と言われ、そしてこの句が述べられております。日ごろ私たちが唱えている「ワイズの信条」、これの一番目には、「自分を愛するように、隣人を愛そう」と書かれ、人を愛することがいかに大切なことであるかを示されております。お互いが愛し合いながら生きていこうではないか、戦争もなくなります。

強調月間 CS

Community Service の略、地域への奉仕活動の意味です。地域の YMCA—湘南とつか YMCA—と協働して地域への活動を積極的に行うことが大事ですね。アンジュ、ユニライフ、Y祭…と、すでにお馴染みのものばかりですが、それに今年は区から「プラス1事業の推進」が要請されています。これからYMCAと相談したりしながら決めたいと思います。献金は@1,250円以上、クラブとしては、毎年「達成賞」は頂いておりますが、更に一段上を目指したいものですね。あと、CS事業には環境問題への取り組みがあります。今期は、「もったいない運動」の推進・アンケートの実施を相川事業主任は考えておられるようです…。

6月在籍者数			6月出席者数			出席率	ファンド		B		F		CS・TOF・A S F		Y E S		R B M	
メ	ン	12	メ	ン	11	92%	他	(円)	(g)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
メ	ネット	2	メ	ネット	4		前月迄		0		0		0		0		0	
			ゲストら		0		当 月		0		0		0		0		0	
計		14	合 計		15		累 計		0		0		0		0		0	

☆第1例会報告☆

吉原 訓

～今城部長公式訪問・総会・卓話～

日時：2015年7月4日(土) 18:30～20:30

場所：湘南とつかYMCA 1階ホール

出席者：(ゲスト) UniLeaf 大下利栄子代表

学習教室 金石万希講師

ウェルネス 森脇倫子インストラクター

(ビジター)今城高之部長・林茂博部書記・岡田勝美部会計・
辻剛会長・今城宏子・岡田美和・鈴木茂・生井知三
(つぎクラブ)

佐藤節子(厚木クラブ)

—敬称略—

(メン)浦出・長田・加藤・川津・小俣・土方・吉原・若木・渡辺・
(メネット)佐藤・杉本・加藤 計) 24名



キックオフに相応しい
中味のあるプログラム、
浦出副会長の司会で定刻
に開会点鐘、セレモニー
の後は森脇さんによるエ
クササイズ、24名もの参

加者、ちょっとした壮観、指導にも思わず熱が入って…？
そして、様々な差し入れに感謝しながらの賑やかなお食事
タイム、いつもの和やかムードが会場いっぱい広がります。
かつて、ご自身が神戸 YMCA のキャンプリダーでしたとの
自己紹介から始まった今城部長のご挨拶、部長主題を中に
各クラブが2名の会員増を達成すれば、部として150名に

なる、まずはこの事を当面のメルクマールにしようではない
か…と語り掛けられました。当夜、配布の部報1号には
部長主題に因んでか、ミレーの「種まく人」エッチング
が掲載されておりました。

若木次期部長が議長となって始まった総会では、活動報告、
ギャベルの引継ぎ、役員発表、活動計画、所信表明と進み、
全員、拍手のうちに無事終わりました。なお、会計決算の
関係は、次の例会までに報告することで、了承されました。

2009年以降、クラブが支援を続けるUniLeafの代表の
卓話では、現時点で点字にした童話絵本は386冊となること、
貸出し実績も増えつつあることなどにつき、点字化した絵本
‘グリとグラ’を席上回覧しながらの熱弁のひと時、終わりに、
会長から支援金の贈呈が拍手のうちになされました。

諸連絡事項、ハッピーバースディ、ロバタイムなどあって、
全員で記念写真に収まり、定刻、閉会点鐘となりました。



☆大震災復興応援ナイターへ☆

浦出 昭吉

～第2例会を振り替えて～

日時：2015年7月21日(火) 18:00～22:00

場所：横浜スタジアム(横浜 DeNA vs 東京ヤクルトスワローズ)

参加者：(ゲスト) 小俣コメント・金石万希さん

(メン) 浦出・加藤・小俣・土方・若木・渡辺

(メネット) 浦出・加藤 計) 10名

『ともに明日へ』のテーマのもと2013年に始まり3回目
を迎えた『横浜YMCA 東日本大震災復興応援ナイター2015』、
16時半に 関内中央 YMCA1 階受付で早めに手続きを済ませ、
球場の指定された場所へと向かいました。気を揉ませたお天
気も まずは心配なさそうです…どころか 久しぶりで真夏
の宵を実感させられるひと時となりました。指定された内野
席‘29段・202番’、すり鉢の底を見下ろすような高所、向う
正面にはテレビでお馴染みのスコア・ボード、例によって

‘YMCA’のネオン
も顔を出しています(写真)。

お弁当を広げ、
飲物を口に18時
の開始時刻を待ち
ます。周りには
とつかの皆さん、

そして前に坐った加藤君のお隣には山根・田口とYMCAの
大物が肩を並べ この3人、笑顔で盛んに遣り取りを…。

定刻にプレーボール、試合結果は 先刻ご承知のとおりで
すが、やはり1回表の‘4点’が その後の試合運びに大きく
影を落とす結果となったようで、17失点と 最近にして
は珍しい程の負けっぷり、『ファンが大きな声援を送って
くれたにもかかわらず 見せてはいけない試合を見せた…。』
と、中畑監督も厳しい表情…と朝刊に出る始末、後半戦が
始まって2日目 4位に転落の憂き目に遭う試合結果でした。

それとは別に、久し
振りに会った仲間たち
とは 試合の合間に、
クラブの日程などや
報告事項をお願いし
たり確認してりで、少
しばかりの事務会ムード、
皆さん、最終回前まで
には三々五々腰を上げ
られたようでした…。

明日の第3戦に望み
をつなぎながらスタジ
アムを後にしました。

横浜YMCA 東日本大震災復興応援ナイター2015
★ともに明日へ★

【守りたい子ども未来プロジェクト】を通じて被災地から県内への避難家族200名を顕彰ご招待
4年連続で開催される横浜スタジアムでの開催。横浜スタジアムに集まる約10万人の観客から募った資金が被災地支援に活用されています。

2015.7.21 横浜スタジアム 18時試合開始予定
横浜DeNAベイスターズ vs 東京ヤクルトスワローズ

復興応援募金【一口3,000円】で被災地も応援しよう！
募金したい皆さまに当日の内野指定席チケット
さらにオリジナル応援タオルマフラーをプレゼント！



☆第1回部評議会に出席して☆

小俣 妙子

毎年、この時期に開かれる標題の会合、今年は7月25日(土)15時から17時まで関内中央YMCAに部役員22名が出席して開かれ、初めて参加しました。



部評議会は部の意思決定機関と伺っておりましたので、肩の荷の重い会合になるのかなと思って501号室のドアを開けたところ、いつもと同じお顔の方々を拝見し、大いに安堵しました。

開会セレモニーの後は、プログラムに従い前もって提案のあった7つの議題を中心に幾つかの意見も出てすべて順調に推移しました。

議事の終わりは監事講評で、担当の加藤ワイスから、議事の進め方が円滑で特に①配付資料に「ワークブック」が配付されたのは、便覧的な要素も含め部役員にとっては大変参考になること。②出席者紹介では、クラブの代表者からクラブごとにまとめて紹介し、併せてクラブの現況が聴けたのは良かった。③部の事業主査の活動状況が従来ともすると通り一遍になりがちだが、今期4人の主査さんの活躍に期待したい。また、④沖縄訪問は再検討時期にきている様に思われるので、現地からの意見も参考にしながら今後煮詰めていきたい、などのお話がありました。

定刻に閉会点鐘、集合写真に収まり、ご挨拶を交わして二次会場へと歩を進めました。暑かった1日の汗は、冷房の効いたお部屋での交流ですっかり収まりました。

☆随 想☆

～法事旅行～

佐藤 康子

7月11日、4姉妹に弟夫婦、95歳から78歳までの後期高齢者6人が東京駅に集合し新幹線「のぞみ」で京都に向かいました。



私の父方の曾祖父が京都出身のためお墓が市内のお寺にありますので(※)、今まで墓参の都度よく京都旅行を楽しんでおりました。

この度は全員が健康を気遣うようになり、法事のみで一泊して帰路につくというスケジュールでした。

市内は お祭りで四条通りは車の大渋滞でしたが、車中からは和服姿の人たちが多く見られ暑さもなんのその、さすが京都かな… と思いました。

法要・墓参のあと お寺から駅に直行し、私は新横浜駅で下車して午後6時には帰宅できました。東京グループも明るいうちに帰宅できたようです。

幼子連れで 駅ごとにお弁当やお茶を求めて汽車の旅を楽しみ、名所・旧跡をめぐる半世紀前を懐かしく思い出しておりましたが、今は新幹線のお陰で高齢者も長距離の旅行が出来ることが実感できた旅でした。(了)

※) 特別メネットの佐藤さんから ご投稿いただきました。

文中に出てくる「市内のお寺」を伺ったところ、壬生狂言で知られる四条通り沿いの壬生寺とのことでした。

部長をお受けして☆

若木 一美

湘南・沖縄部初代部長吉田登・4代元井逸子・7代安永和夫・11代浦出昭吉の各氏、因みに10代は元とつかの田口堅吉氏、どなたもワイズに深い愛情と高い理想を心に秘めた重鎮の皆さまばかりです…。



さて 来期は私が部長をお受けすることになりました。昭和45年ユースホステル運動と県立鎌倉青少年会館での活動から始まり、横浜YMCA元総主事の高橋四郎・吉村恭二の2氏と横浜クラブの高杉治興氏には そうした

関係から出会いました。そして国・県・市の多様な団体で活動すること45年、こんな外様の私に部長が務まるのでしょうか???

7月に入ってから 過去の部役員会や会長研修会等の資料、その他 手元にある関係資料を再読していますが、20年前も現在も課題は同じ、米国がなぜ衰退したかという分析資料もありました。

いずれも ワイズがワイズを評価しているので、第三者からの視点が欠けているような気がします。

読み始めたばかりですが 秋ころまでには読み終え、諸先輩のご教示を仰ごうと考えております。

来期はクラブの皆さまの知恵と力をお借りし、支え・導いていただかないと大役は務まらないと思います。

どうぞよろしくご願い申し上げます。

☆第11回彩遊会展を観て☆

加藤 利榮

7月7日から12日にかけて 水彩画専門の「第11回彩遊会展」が鎌倉駅近くの生涯学習センターギャラリーで開かれていることを川津ワイズからの案内で知り、7日(火)の午後 つゆの合い間を見ながら 出掛けてきました。

受付には 既に彼が待っていたかのように立っておられ、早速名簿に署名した後 彼の案内で観て回りました。講師の方を含め 会員10人の作品が展示されております。お一人5点から7点、川津さんは6点出しておられます。

かつて10数年前 鎌倉に仕事の関係で通っていた折、下馬(ゲマ)の交差点辺りをキャンパス下げて歩いている彼によく出くわしたものでした…、ということからすれば彼の画歴が一朝一夕のモノでないことも分かります。

60点ほどの展示作品、いずれも風景画と静物画がほとんど、中には同じ風景を春・夏・秋・冬に分けて画いたものなどもあり、素人目にも興味を惹く作品があります。

さて 川津さんの作品は 風景3・静物3で、私には「かぼちゃ」と題した静物画が

気に入りました。立体的・質的な要素を大胆に取り入れ、十分に見応えのある作品です。しばし堪能した後 ご挨拶を交わし 会場を後にしました。



☆YMCA だより☆

長田 光玄

～自分のいのちとみんなのいのちを大切に～

横浜 YMCA では7月1日～7日までを安全週間として、改めて安全について学び、それぞれの施設で危険な箇所がないかなど確認しております。

今年度は7月1日(水)に関内の横浜中央YMCAにスタッフが集い、4年4ヶ月経った東日本大震災当日の対応を「石巻の奇跡」から学びました。また、7月には近隣小学校への安全指導が多くありました。小学校教員の方への心肺蘇生法の伝達講習会を4校、着衣泳指導を7校、水泳指導を2校 実施しました。

着衣泳では 自分のいのちを守り、みんなのいのちを大切にすることを児童に伝えています。

通常の水泳授業とは違う着衣泳に 児童たちは真剣に取り組んでいました。

子どもも大人も楽しい夏を 安全に・楽しく過ごせませすように！



☆8・9月の行事予定 ☆

- > 8/3(月) 湘南とつかYMCA 運営委員会(18:30)
- > 8/7～9 第22回 AIDS 文化フォーラム(県民センター)
- > 8/8(土) J. T. スウィフト墓前祭(正午・山手外人墓地)
- > 8/21(金) **クラブ納涼会(18:30・加藤ワイズ宅)**
- > 8/22(土) YMCA 委員研修会(14:00・湘南とつかY)
- > 9/1(火) 第70回 Y-Y' s 協議会(19:00・関内中央Y)
- > 9/5(土) 第1例会(18:30・湘南とつかYホール)
- > 9/15(火) 第2例会(18:30・湘南とつかY 204号室)
- > 9/23(水) YMCA 会員スポーツ大会(10:00・フェリス大)
- > 9/26(土) 部会・役員会(ワークピア横浜)

～8月の会合のご案内～

第1例会

恒例により ワンパス です。

第2例会：クラブ納涼例会～鎌倉クラブと合同で～

8月21日(金) 18:30～

加藤ワイズ宅

当夜は 昨年同様、南部ワイズも参加の予定です。

‘あつぎ’の前夜祭の興奮を今一度…!
とつかの皆さんは色々な場面でご協力を宜しく…。

～Happy Birthday～

小俣 妙子さん 8月26日

～掲示板～

会長

◎J. T. スウィフト墓前祭への参加について

暑いさ中ですが 今年も8月8日(土)の正午に山手の外国人墓地に集合し、標記の墓前祭が行われます。

また、その後の中華街での交流会も見逃せないプログラムとのことです。例年、東京YMCAからの参加者を含め15名ほどが集まり、とつかからは加藤ワイズが参加されています。ご都合のつく方はいかがですか。

◎8/21(金)の納涼例会について

早いもので今年で18回目となったようです。確か、第1回は地下鉄開通の前の年1998年の8月と記憶しております。さて 真夏の夕べのひと時、加藤ワイズの多くのゲストとともに交流しましょう。近く 詳しいご案内が届くと思いますが、あの南部節をサカナに、EMCを念頭に 大いに語り、明日への活力源としたいものです。

申すまでもなく 鎌倉クラブとの合同納涼会です。

◎8/22(土)の横浜YMCA 委員研修会について

横浜YMCAの委員会構成メンバーを対象に相互のつながりを確認し、地域活動などの一層の活発化を目的に98年度に始まった研修会、該当される方はご参加ください。

(後記)

YMCAの夏季プログラムが真っ盛りです。

(TK)



☆今月の歳時記から☆

‘夕立 ゆうだち’と‘藤袴 ふじばかま’

‘夕立’、短い時間にザーッと降る雨で、大粒の雨がときには雷を伴います。午後に降るから夕立と名付けられたといわれますが 厳密には違うようです。降ってきたなと思うと一時間もしないうちにケロッと止んでしまい、あとはまたからりと晴れます。積乱雲の通り道に当たる所で降り、武蔵野の夕立は「馬の背を分ける」ほど強い雨だったとか…。

夕立に一顧もくれず読書かな	立子
つり橋を渡る夕立の濡らせしお	林火
夕立に小石のふえし道帰る	梵

次に‘藤袴’、秋の七草の一つ、七草のうち最も香り高い花といわれています。山林や河畔などに自生し、広く庭園にも栽培されます。高さ1メートル余り、葉は三つに裂けていて ふちにノコギリ葉を持ち、一種の芳香があります。秋になると、淡紅紫色の小花が茎の梢に群がり咲きます。香草・香水蘭ともいい、古くは「あらぎ」ともいいました。

藤袴手に満ちたれど友来ずも	多佳子
藤袴白したそがれ野を出ずる	鷹女
枯れ果てしものの中なる藤袴	虚子

(中)